



このパソコンから新しい物語が生まれる
(写真提供：佐伯泰英事務所)

佐伯通信

2019年10月(令和元)
第49号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

新しいパソコン

五年ぶりにパソコンを新しくした。万年筆で原稿用紙に書くスタイルからワープロに換えたのは、時代小説に転じた時期とほぼ同じだと思う。以来、十数台のパソコンを使ってきた。ワープロを使い始めた当初、一年ちよっとで買い替えた。何しろ親の仇のようにキー

ボードを叩くものだから印字が一年余で薄れて消え、本体も調子が悪くなった。二階の仕事場で叩くキーボードの音は地下でも聞こえたそう。パソコンの性能が進化したか、私の体力が衰えたか、今回は五年も取り換えずに済んだ。この五年間におそらく六十作から七十作の書下ろし時代小説を書いたであろう。ご苦労さんでした、とワープロに感謝するしかない。それにしてもこの五年の間にパソコン本体は軽くなり、ディスプレイ画面は広くなり、デザインは機能的でシ

佐伯泰英／近刊のお知らせ

2月
5日

《文春文庫》
新・酔いどれ小籐次
『酒合戦』
16

1月
4日

《文春文庫》
新・居眠り磐音
『初午祝言』

「佐伯通信」第50号が入ります。(初版の初回出荷分にのみ挟み込み)

11月
16日

《岩波現代文庫》
『惜櫟荘の四季』

《文春文庫》
居眠り磐音
『決定版』

11月7日	⑬『捨雛ノ川』	⑲『梅雨ノ蝶』
12月5日	⑳『野分ノ灘』	㉑『鯖雲ノ城』
1月上旬	㉒『荒海ノ津』	㉓『万両ノ雪』
2月上旬	㉔『朧夜ノ桜』	㉕『白桐ノ夢』

※発売日は予定です。

京都、そして熱海

光文社 文庫編集部
「新・吉原裏同心抄」「吉原裏同心抄」
「吉原裏同心」「夏目影二郎始末旅」担当

小口 稔

みなさま、『新・吉原裏同心抄 まよい道』をお読みいただきありがとうございます。幹次郎と麻が京に赴くという大きな展開となり、シリーズも「新・吉原裏同心抄」となりました。個人的な話になりますが、私も学生時代に京都に住んでおりました。京都は学生には優しい街でしたが、一方でその本性を知るには少し住んだだけではわからないともよく言われます。そんな中で幹次郎たちは何を知り、何を得るのか。これからしばらく幹次郎たちは京で、そして一方の吉原でも不穏な蠢きが……という二つの物語が並行して続きます。いつまでもチャレンジを続ける佐伯先生の、まさに新たな試みに一読者としても胸が躍ります。ともに見守っていただければ幸いです。

もう一つ、佐伯先生のエッセイにもありますが、来月、岩波現代文庫から『惜櫟荘の四季』が刊行されます。熱海の惜櫟荘といえば、佐伯先生が修復されて十余年の間「番人」として暮らしておられますが、元は岩波書店の創業者、岩波茂雄の別荘でした。そして、こちらまた個人的な話で恐縮ですが、その岩波茂雄は私にとって母校の大先輩に当たります！ 多くの郷里の先輩後輩たちが、偉大な先駆者を追うように編集者になっておりますが、私も負けずに今後も精進していくつもりです。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2019年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋

ンブル、耐久性も増したそう。となれば私が使う最後のパソコンとなるであろうか。
ともあれワープロがなければ時代小説書下ろしをこの二十年で二百七十余冊も書けなかったのは確かだ。
さて、久しぶりに二冊目のエッセイ『惜櫟荘の四季』を十一月十六日に岩波書店の岩波現代文庫から刊行する。書店にてご覧いただければ幸いです。
「佐伯通信」第50号は1月上旬刊行予定の『初午祝言』(文春文庫)に入ります。

応募者全員プレゼント

令和初の
磐音と小籐次から
年賀状が届く!

応募は下記「居眠り磐音シリーズ」特設サイト内の専用応募フォームより。
詳細はこちら→ <https://books.bunshun.jp/sp/iwane>

映画「居眠り磐音」Blu-ray&DVD 11月6日(水)発売!
出演 松坂桃李 木村文乃 芳根京子/谷原章介 中村梅雀 柄本明 ほか
(決定版) 10月・11月刊にてDVD読者プレゼント実施

出版社からのお知らせ ● 文春文庫

新・吉原裏同心抄シリーズ刊行記念・
特製ブックカバー(文庫用)をプレゼント!

『まよい道』カバー絵を使った特製ブックカバーを、200名様にプレゼントいたします。

応募方法 オビにある応募券を1枚1口でハガキに貼付し、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業をお書きのうえ下記までご応募ください。

宛 先 〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6 光文社文庫編集部 「まよい道」プレゼント係
締め切り 2019年12月20日(金)(当日消印有効)

● 光文社文庫